

## 「ゼンショー 東京大学・ベトナム国家大学ハノイ校日本研究拠点プログラム 日越大学 支援金受給生」二次募集要項

「ゼンショー 東京大学・ベトナム国家大学ハノイ校日本研究拠点プログラム」（以下ゼンショープログラム）は、株式会社ゼンショーホールディングスからのご寄付に基づき、ベトナムにおける若手日本研究者の養成を促進するため、東京大学大学院総合文化研究科（以下総合文化研究科）とベトナム国家大学ハノイ校附属人文社会科学大学（以下人文社会科学大学）及び同附属日越大学（以下日越大学）との間で、2011年に設けられた支援プログラムです。

ゼンショープログラムでは、2019年9月に入学した日越大学大学院日本研究修士課程の学生のみなさんのうち、世界の第一線に立つ日本研究者をめざしている方を「支援金受給生」に採用し、2年間の支援金を支給しており、今回二次募集を行います。採用の条件と支援の内容、義務は下記のとおりです。

採用条件： 日本研究にかかわり、人文社会科学の方法論（ただし日本語教育を除く）に基づく具体的で明確な研究テーマをもっていること。特に、日本研究の世界的な動向からみて妥当な研究テーマであること。

採用者数：若干名（最大で1名）

採用期間：2019年12月から2021年8月までの21か月。ただし正当な理由により休学した場合には、一時的な停止と再開を認める。

支援の内容：

② 支援金として、月額6万円を1年9か月間（総計126万円）支給する。

②第3学期（2020年9月から2021年1月）の「インターンシップ」期間中に、総合文化研究科の特別聴講学生として受け入れ、奨学金（月額15万円相当、ただし上記の支援金はこの15万円に含まれるものとする）と1往復航空券を支給する。

③ゼンショープログラム担当教員（下記一覧を参照）が指導教員になり、修士論文の執筆を指導する。

（支援の内容は①②③を一体のものとするので、その一部を辞退する場合は、以後の支援を打ち切る場合がある）

支援金受給生の義務：

①研究に専念すること。アルバイトは研究に関連するもののみ、1週間5時間以下に限って認める。

②毎月1回研究状況報告書（日本語）を提出すること。

支援金の受給を希望する方は、下記の要領によって応募してください。

提出書類：研究計画書（日本語で6400字程度。研究テーマについて、これまでに発表された先行研究を明示し、自分の独自の観点を提示し、最後に必ず参考文献目録をつけること。支援金受給生に採用された場合には、これを第1回12月分の研究状況報告書とみなします）

提出期限：2019年12月3日午前0時（=ベトナム時間の2019年12月2日夜10時。遅れた場合は一切受け付けない）

提出宛先：ゼンショープログラムハノイオフィス 神田真紀子先生（kanda@jsph.c.u-tokyo.ac.jp）あて、電子メールで提出すること。日越大学地域研究プログラムの伊藤まり子先生（ito\_marimari@yahoo.co.jp）と Phạm Thị Thu Giang 先生（ptthugiang@gmail.com）にも cc を送ること。

応募者には面接を実施のうえ、可否を通知します。面接は2019年12月に行います（時間については後日神田真紀子先生から通知します）。

応募にあたってわからないことがあるときは、神田真紀子先生あて電子メールで問い合わせてください。

\*ゼンショープログラム担当教員一覧

齋藤希史（さいとう・まれし 東京大学）

清水剛（しみず・たかし 東京大学）

Phan Hải Linh（ファン・ハイ・リン 人文社会科学大学）

Võ Minh Vũ（ヴォー・ミン・ヴー 人文社会科学大学）

Nguyễn Phương Thuý（グエン・フオン・トゥイ 人文社会科学大学）

Phạm Thị Thu Giang（ファム・ティ・トゥー・ザン 人文社会科学大学）

以上